

「春のいぶき」を学習する前に：

神戸市の六年生のみなさんへ

臨時休業で、友だちや先生といっしょに学習することができない日が続いています。六年生のみなさんにとって、小学校生活の一つ一つが最後になる大切な一年です。今まで当たり前のように過ごしていた日々が、より貴重に感じられるのではないのでしょうか。今は、みんなが一生けん命にがんばっていることを思いうかべながら、自分ができることを続けていきたいものです。

「春のいぶき」の学習は、「季節の言葉」に親しむ学習です。人は、自然や美しいものに感動する心をもっています。本来なら、一步外に出て、実際の「春」にふれながら「言葉」に親しみたいところですが、残念ながら今、それをかなえることはできません。

しかし、社会科で新たに学習する「歴史」をもとに考えてみてください。人は、長い歴史の中で、たくさん^えの苦しみや悲しみを、勇気と知恵で乗り越えてきました。一つの「想像」から、さまざまなもの^えを「創造」してきたのです。みなさんにも、その力はすでに備わっています。

――今、静かに目を閉じて、「春」を想像してみてください。――

これまで見聞きしたこと、体験したことから、たくさん^{あかし}の「春」がうかんできませんか。それが、「知的」に発達してきた人の証です。先ほど、周囲の人のがんばりを「想像」できたのも、あなた自身の力なのです。人は、まだ行ったこともないような広大な宇宙さえも想像し、豊かに「創造」することができます。

今は、残念ながら戸外に出て学習することは難しいですが、それぞれの「春」を感じながら、自分でこの学習に取り組んでほしいと願います。そして、無事に学校が再開されたときに、ぜひ、みなさんの想像した「春」を、大切な誰かに届けてくださいね。